

早いもので 2006年もあと2週間ほどですね。  
これからクリスマス、お正月と楽しいイベントが続きます。  
家族やお友達、大勢集まって楽しい時間をすごせるといいですね。  
年末の大ぞろひも気分いいから、がんばりましょー!!

## 白田昌史の コラム

## 熱血先生

第9回 小学生駅伝大会を終えて

このたび、小学生駅伝大会の運営委員長をさせて頂けました。

レースは、小さな学校が大きな学校を制して最終区で逆転優勝するのと非常にドラマチックなレース展開となりました。この小さな小学校の先生は、実行委員の一人で、委員会の時も一人一休意欲的な方でした。この学校は今まではチームしかお出でなかつたのに、今回から2チームお出でしました。憶測で2チームお出ですることによって、学校内の競争心を高めたいものと思います。

5区から最終区も区にタスキを渡ると、その先生が「E校とS校が並んでます」と、父兄で嬉しそうに報じているのが印象的でした。彼はきっとこのとき既に勝利を確信していたものと思います。

その日は、私の小学生の時は、青道町内の6校が集まって学校対抗の運動会、通称、小体祭、がありました。私は6年生の時、うちの小学校を代表して選手宣誓をしました。

その当時私の学校にも熱血先生がいて毎日タンバリンの音で、小さな大きな大鼓を叩いて、おどかし、おどかしをして一年中鍛えられていました。そして小体祭の時、私の学校の生徒半分以上の人数になりました。私が私は2位しかお出しきれない思いをし、華々しく宣誓をしたのに責任を果せず悔しい、悔しい思いをし、敗北感に落ち込んだことがありました。

皆が一着になれればよいものでないでしょうが、やる気のある指導者が熱意をもって指導すれば、周りの者を見てやる気を起こし、奇跡をもおこしうるので、やる気と継続が大変なことを改めて知りました。

## グーディングポイント

おめでとう。  
10ポイントめでキリッムムゲット!  
庄司 有加ちゃん(登科小2年生)



有加ちゃんは妹の奈央ちゃんと一緒に定期的にハミガキ指導をうけてます。  
ジュニア合唱団にはいっていて明るくて、がんばりやんの有加ちゃん、おめでとう、ハミガキがんばってー

## 歯科衛生士 浦見子からのメッセージ



“歯スラウシの届かないところで、歯間スラウシが活躍する”

歯間スラウシの活躍の場である歯間部は、通常の歯スラウシが届かない所で、歯間部に頬側、舌側から歯スラウシの毛先を押し込んで、付着している歯垢をとることはできません。かといって歯肉を傷つ

たり、歯スラウシを早くためにしてしまつたので、やはり、おが賢明です。当院では、定期検診にいられている患者様に、実際に歯間スラウシを使って、歯磨き指導をしています。

歯スラウシでしっかりと磨いた後でも、歯間スラウシを使うと、福神食べカスまででてくるんですね。使った気持ちいいですね。と言ってくれます。歯間スラウシは、読んで字の如く歯間部をスラウシングするもの、この音だけが磨いたとき、おどかし、気持ちよくて、味わうのです。